

冬期間の交通確保へ

二戸国道維持出張所 出動式で安全作業誓う

岩手河川国道事務所（真代表取締役）の関係者らが出席。豪雪地帯内の除雪機械出動式が11日、奥中山防災ステーションで開かれた。出動式には、岩手河川国道事務所と二戸国道維持出張所、岩手警察署、二戸警察署、県トラック協会、管内の除雪業務を受託する櫛中建設（二戸市、中館

真代表取締役）の関係者らが出席。豪雪地帯内の除雪機械出動式が11日、奥中山防災ステーションで開かれた。出動式には、岩手河川国道事務所と二戸国道維持出張所、岩手警察署、二戸警察署、県トラック協会、管内の除雪業務を受託する櫛中建設（二戸市、中館

の交通確保に向けた関係機関の連携を呼び掛けた。オペレーターを代表して西館和彦さんが安全宣言した。除雪機械の鍵を受け取り、除雪機械にオペレーターが搭乗。エンジンを始動して安全を確認した後、場内を一周し、冬期間における安全・安心な通行確保に向け、適切な除雪作業に従事することを誓った。

出動式に先立ち、中館建設が主催しての安全祈願式が執り行われた。中館代表取締役は「人流と物流の両面で国道4号の交通確保は重要な課題。安全で確実な交通確保に向けて関係機関との連携を徹底し、細心の注意を図りながら除雪作業に当たっていく」と決意表明。オペレーターの健康管理と安全作業の徹底を誓った。

二戸国道維持出張所は、岩手町との境から青森県境まで、延長60・1キロの国道4号を管理する。国道4号で最も標高が高い458地点を有するほか、多くの急カーブ・急勾配の箇所もある冬期間交通の難所で、19・23年の平均最大積雪深が奥中山で79センチとなる豪雪地帯でもあることから、適切な除雪による安全・安心の確保が重要な課題となっている。

今年度は除雪トラック2台、除雪ブレード15台など合計15台で除雪作業に当たる。現場代理人を務める井端大輔さんは「国道4号は物流の要であり、除雪がでずに交通の滞留を引き起こすことがないよう、先手先手で対応したい。安全第一で除雪機械の点検整備

を徹底し、第三者災害を発生させないよう配慮しながら除雪作業に当たりたい」と話している。



無事故での除雪作業を誓い安全宣言